

巻 頭 言

中村学園大学

流通科学研究所長 浅 岡 由 美

『流通科学研究所報』第15号の発刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。

中村学園大学流通科学研究所が開設されました平成20（2008）年4月から今年度10月末日までの12年間、研究所長を務められた甲斐諭先生のご退任に伴い、11月1日付で研究所長を拝命いたしました。甲斐先生のような広範な見識や能力を持ち合わせておりませんが、この所報をお手に取ってくださるみなさまをはじめ、多くの方々のご支援と研究所や学内のメンバーと力を合わせ、流通に関する研究、流通業をはじめとする産業の進展に寄与できるよう努めてまいります。引き続き、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているという令和の時代の幕開けは、東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博などの開催を前に希望と活力に満ちた未来を期待するものでしたが、令和2（2020）年1月以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大はいまだ終息の糸口が見えずに、業界、地域にかかわらず、営業自粛、時短営業、緊急事態宣言の発出などによる多大な影響が続いています。

流通科学研究所では、毎年、夏季休暇期間中の海外への調査研究と、夏から秋にかけて海外からの研究者を招聘しての国際セミナーを開催していますが、令和2（2020）年度はフィリピンで実施予定であった海外調査研究を中止とし、国際セミナーは対面とZoomを併用しての開催となりました。令和2（2020）年は、流通科学部が創設されて20年となった記念の年であり、このことを冠した「中村学園大学流通科学部創設20周年記念 流通科学研究所・大学院流通科学研究科共催 第15回国際セミナー」を9月11日に開催いたしました。今号は、この国際セミナーを特集し編纂いたしました。

「コロナ禍による流通の影響と対応」をテーマに、卸売業、小売業、外食産業、生活協同組合から4名の講師と本学からの1名は本学の会場で、中国と韓国からの2名の講師には事前に作成いただいたスライドでご参加いただきました。コロナ対応でお忙しく、たいへんな中で、ご登壇に心から感謝申し上げます。200名を超える方々にZoomでご参加いただきました。この時期、各業界において生じていた事実と、その取り組みを第一線の講師の視点によりご教示いただき、記録できたことはたいへん有意義なことでありました。国際セミナーの開催にご尽力くださいました学内外のみなさまに心からお礼を申し上げます。

今号は、甲斐諭先生のご退任を記念し、先生の足跡の一端を綴るものでもあります。

甲斐先生は、九州大学農学部の教授を退官された平成20（2008）年に中村学園大学に着任され、流通科学研究所の初代所長に就任されました。平成24（2012）年からは学長を務められ、本学の発展に多大な貢献をされたことは周知のとおりです。教育、研究、大学運営のどれもに全力を傾けられ、大学院では多くの留学生を指導されました。毎年、新年には彼らをご自宅に招き、女子学生には和服を着付けるなど、愛情をもって教育に精進されました。本学に着任されてからも研究に精励され、膨大な研究成果を残されています。先生の教育、研究、大学や学会でのご尽力を間近で見聞していたわたくしどもは、いつも先生の心身のご健康を心配しておりましたが、まったくの杞憂でした。夜遅くなっ

てからテニスコートに向かわれるなど、先生のお元気さには圧倒されておりました。ご退任後も本学の顧問に就任され、引き続き、わたくしどもをお導きくださり、研究も一緒させていただけることを嬉しく感じておりますが、先生も奥様も少しは、ごゆっくりなさってほしいと思っております。

最後になりましたが発刊に際し、国際セミナーで講師をお務めくださいましたみなさま、ご講演の編集に携わった研究員、研究所の運営にご尽力くださった谷口愛子さん、研究成果を整理くださった甲斐諭先生に深く感謝申し上げます。また、研究所の研究と活動にご理解、ご高配、ご支援くださる中村学園中村量一理事長には、この場を借りて心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

一日も早く笑顔が戻り、明るい未来を展望できるようにと祈念申し上げます。